

2020年度 決算参考資料

2021年5月



1. 2020年度損益の状況

(単位：百万円)

項 目	番号	2019年度	2020年度	前年比	備 考	
業務粗利益	1	27,210	27,125	△ 85		
資金利益	2	23,487	23,528	+ 41	貸出金平残	+ 11.3% (+1,975億円)
資金運用収益	3	23,888	23,943	+ 55	貸出金平残【除く地公体・政府系】	+ 6.6% (+939億円)
貸出金利息	4	18,379	18,700	+ 321		
(貸出金利息【除く地公体・政府系】)		(17,635)	(18,032)	+ 397	貸出金利回り	1.052%→0.962% (△0.09%)
有価証券利息配当金	5	5,296	4,989	△ 307	貸出金利回り【除く地公体・政府系】	1.251%→1.199% (△0.052%)
その他	6	211	252	+ 41	株式配当金 +65	投信解約益 △152
資金調達費用	7	400	414	+ 14	預金等平残	+ 10.9% (+2,547億円)
預金等利息	8	321	312	△ 9	" 利回り	0.013%→0.012% (△0.001%)
その他	9	79	101	+ 22	総資金利鞘	0.11% (前年比+0.02%)
役務取引等利益	10	2,956	3,585	+ 629		
役務取引等収益	11	6,876	7,325	+ 449	法人ビジネス関係	+ 150 投信・生保 + 259
" 費用	12	3,919	3,739	△ 180	住宅ローン等保険料	△ 87 支払保証料 △ 46
その他業務利益	13	766	11	△ 755	国債等債券売却【益】	△ 1,072 国債等債券売却【損】 △ 60
経費	14	21,253	20,575	△ 678	人件費	△ 284 物件費 △ 496 税金 △ 103
業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	15	5,956	6,549	+ 593		
クレジットコスト	16	1,571	2,592	+ 1,021	クレジットコスト	= 0.10% (前年比+0.02%)
一般貸倒引当金繰入額	17	△ 1,000	△ 451	+ 549	貸出金平残	
個別 " "	18	2,453	2,895	+ 442		
債権売却損等	19	118	149	+ 31		
貸倒引当金戻入益	20	0	0	+ 0		
その他の臨時損益	21	△ 151	△ 191	△ 40		
経常利益	22	4,233	3,765	△ 468		
特別損益	23	△ 505	△ 311	+ 194	固定資産処分益	+ 557 固定資産減損 + 236
税引前当期純利益	24	3,727	3,454	△ 273		
法人税等・法人税等調整額	25	1,416	1,137	△ 279		
当期純利益	26	2,311	2,316	+ 5		
対顧客利益 (4-8+10-14)	27	△ 239	1,398	+ 1,637		

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

2. 対顧客利益の推移

9期ぶりの黒字転換

(単位：百万円)

項目	No.	2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
			前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
対顧客利益 (2+5-8)	1	△ 3,019	+7	△ 2,407	+612	△ 1,731	+676	△ 239	+1,492	1,398	+1,637
預貸金利息	2	17,716	△ 19	18,012	+296	18,240	+228	18,058	△ 182	18,388	+330
貸出金利息	3	18,343	△ 405	18,443	+100	18,559	+116	18,379	△ 180	18,700	+321
預金等利息	4	626	△ 386	431	△ 195	319	△ 112	321	+2	312	△ 9
役務利益	5	2,496	△ 397	2,257	△ 239	2,271	+14	2,956	+685	3,585	+629
役務収益	6	6,198	△ 171	6,073	△ 125	6,246	+173	6,876	+630	7,325	+449
役務費用	7	3,702	+227	3,816	+114	3,974	+158	3,919	△ 55	3,739	△ 180
経費	8	23,231	△ 423	22,676	△ 555	22,242	△ 434	21,253	△ 989	20,575	△ 678
人件費	9	12,877	+28	12,513	△ 364	12,039	△ 474	11,505	△ 534	11,221	△ 284
物件費	10	9,017	△ 453	8,753	△ 264	8,862	+109	8,465	△ 397	7,970	△ 495
税金	11	1,336	+3	1,409	+73	1,339	△ 70	1,282	△ 57	1,385	+103

※対顧客利益：預貸金利息＋役務利益－経費

3. 業務純益の補足説明

(単位：百万円)

項目	No.	2019年度	2020年度	前年比	備考
業務純益 (2+12)	1	6,956	7,001	45	
実質業務純益 (3+11)	2	5,956	6,550	594	
コア業務純益	3	4,726	6,447	1,721	
資金利益	4	23,487	23,528	41	貸出金利息+321、有価証券利息△307
役務取引等利益	5	2,956	3,585	629	法人ビジネス、預かり金融資産等
その他業務利益【除く国債等関係損益】	6	△ 463	28	491	
外国為替売買損益	7	△ 543	22	565	欧米金利低下による外貨調達コスト低下
その他	8	80	6	△ 74	
経費 (△)	9	21,253	20,575	△ 678	人件費△284、物件費△496
コア業務純益 (投信解約損益除く)	10	4,422	6,294	1,872	投信解約損益 2019年度：305、2020年度：153
国債等関係損益 (5勘定戻)	11	1,229	103	△ 1,126	2019年度のREIT売却益の反動
一般貸倒引当金繰入額 (△)	12	△ 1,000	△ 451	549	2020年度大口要因有り
臨時損益	13	△ 2,723	△ 3,236	△ 513	
うち 株式等関係損益 (3勘定戻)	14	204	579	375	
うち 与信費用【除く一般貸倒引当金】	15	2,571	3,044	473	
経常利益 (1+13)	16	4,233	3,765	△ 468	

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

4. 増減要因分析表（前年度対比）

（単位：百万円）

	2019年度	2020年度	前年比	増減要因	
経常収益	33,476	33,159	△ 317	+要因：貸出金利息+321、役務収益+449、株式等売却益+533 △要因：有価証券利息△384、国債等売却益△1,072 団信配当△177、睡眠預金関係△64	
経常利益	4,233	3,765	△ 468	+要因：預貸金利息+330、役務利益+629、株式等損益+375 経費△678 △要因：クレジットコスト+1,021、市場部門△1,011、 退給費用+196、団信配当△177、睡眠預金関係△64	
うち	預貸金利息収支差	18,058	18,388	+330	
	貸出金利息	18,379	18,700	+321	
	（貸出金利息【除く地公体・政府系】）	(17,635)	(18,032)	(+397)	増減要因分析：残高要因+1,151、利回り要因△753
△	預金等利息	321	312	△ 9	増減要因分析：残高要因+33、利回り要因△41
	役務取引等利益	2,956	3,585	+629	
	役務取引等収益	6,876	7,325	+449	法人ビジネス関係+150、投信・生保+259
△	役務取引等費用	3,919	3,739	△ 180	ローン関係支払保証料等△133
	市場部門	5,536	4,525	△ 1,011	
	有価証券利息配当金	4,992	4,608	△ 384	投信解約益△152、国内債△264
	債券等売却損益	1,226	136	△ 1,090	
	実質的な債券等売却損益	1,226	136	△ 1,090	
	外貨調達コスト	670	231	△ 439	欧米金利の低下
	子会社配当金	304	382	+78	
△	経費	21,253	20,575	△ 678	人件費△284、物件費△496、税金+102
△	クレジットコスト	1,571	2,592	+1,021	2020年度大口要因有り
△	退職給付（過去勤務・数理差異償却）	804	1,000	+196	
	株式等損益	204	579	+375	
特別損益	△ 505	△ 311	+194	固定資産処分益+556、固定資産減損・処分損+362	
税引前当期純利益	3,727	3,454	△ 273		
法人税等・法人税等調整額	1,416	1,137	△ 279		
当期純利益	2,311	2,316	+5		

※百万円未満は切り捨てて表示しております。
※要因は主なもののみ記載しております。

5. 経常収益・利益の推移

【単体】 (百万円)

	経常収益		経常利益		当期純利益	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
2021年3月期	33,159	△ 317	3,765	△ 468	2,316	5
2020年3月期	33,476	△ 5,495	4,233	983	2,311	△ 319
2019年3月期	38,971	△ 4,789	3,250	△ 8,028	2,630	△ 9,967
2018年3月期	43,760	252	11,278	7,884	12,597	9,738
2017年3月期	43,508	△ 4,812	3,394	△ 2,059	2,859	△ 359
2016年3月期	48,320	7,449	5,453	△ 204	3,218	△ 48
2015年3月期	40,871	△ 1,129	5,657	△ 1,792	3,266	△ 1,688
2014年3月期	42,000	167	7,449	1,873	4,954	2,772
2013年3月期	41,833	2,098	5,576	△ 1,679	2,182	△ 522
2012年3月期	39,735	△ 482	7,255	35	2,704	44
2011年3月期	40,217	△ 1,534	7,220	△ 1,685	2,660	△ 2,492

経常収益：2019年3月期以降3期連続の減収
 経常利益：2019年3月期以来2期ぶりの減益
 当期純利益：2018年3月期以降3期ぶりの増益

【連結】 (百万円)

	連結経常収益		連結経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
2021年3月期	41,153	△ 247	4,213	△ 389	2,465	24
2020年3月期	41,400	△ 5,264	4,602	1,183	2,441	△ 195
2019年3月期	46,664	7,042	3,419	△ 52	2,636	△ 4,014
2018年3月期	39,622	△ 4,484	3,471	△ 586	6,650	3,752
2017年3月期	44,106	△ 4,911	4,057	△ 2,109	2,898	△ 344
2016年3月期	49,017	7,107	6,166	△ 535	3,242	△ 74
2015年3月期	41,910	△ 711	6,701	△ 1,307	3,316	△ 1,667
2014年3月期	42,621	48	8,008	2,024	4,983	2,765
2013年3月期	42,573	2,091	5,984	△ 1,765	2,218	△ 513
2012年3月期	40,482	△ 475	7,749	198	2,731	35
2011年3月期	40,957	△ 1,558	7,551	△ 1,687	2,696	△ 2,489

連結経常収益：2020年3月期以来2期連続の減収
 連結経常利益：2020年3月期以来2期ぶりの減益
 親会社株主に帰属する当期純利益：
 2018年3月期以降3期ぶりの増益

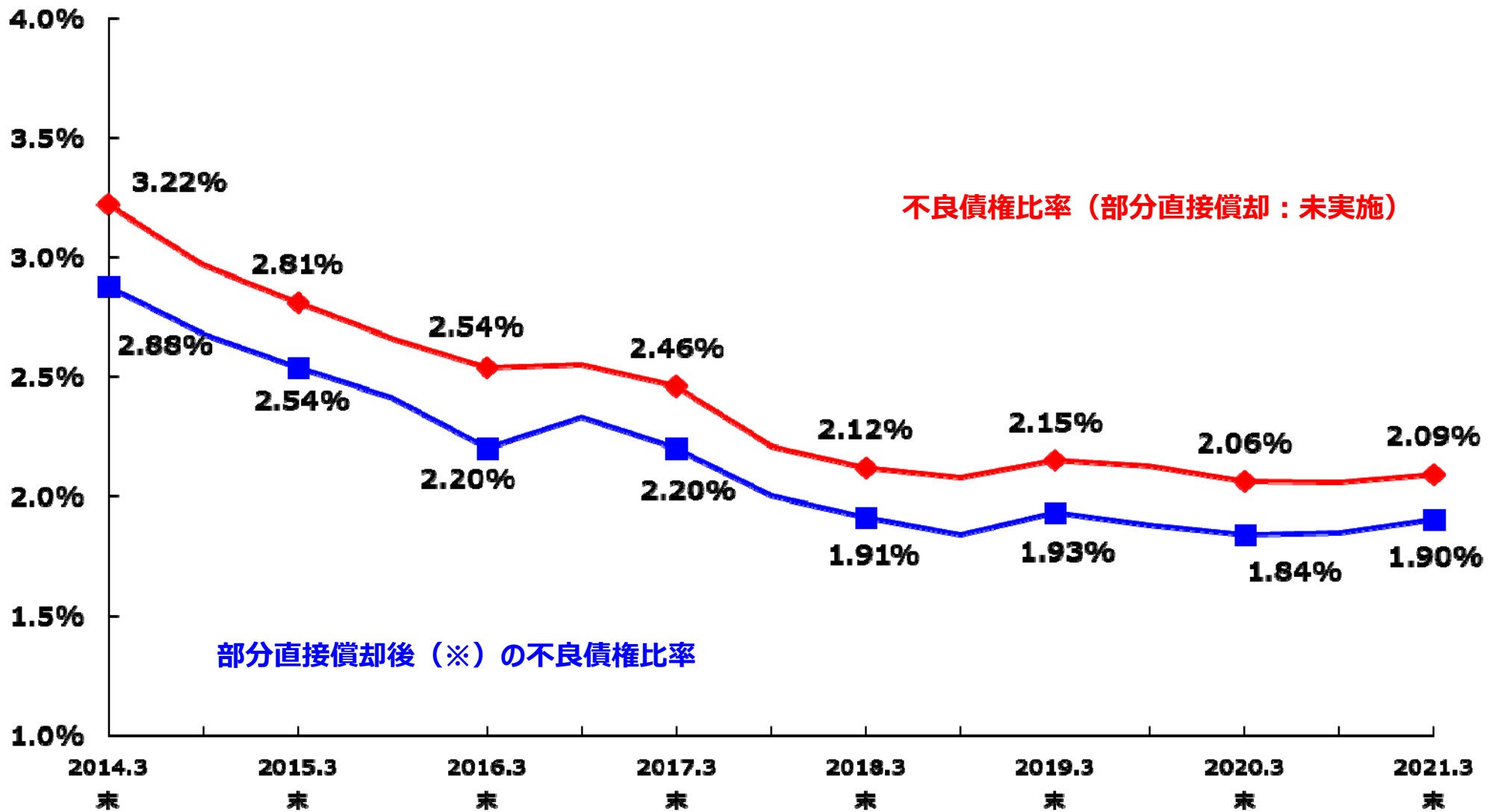
※百万円未満は切り捨てて表示しております。

6. 連結損益の状況

(単位：百万円)

	連結実績				連単差 (2020年度)			
	2019年度	2020年度	前年比	備考	①単体	②連結	連単差 (②-①)	連単差の内容
経常収益	41,400	41,153	△ 247	◇増加要因 ・子会社売上高 +62 ・連結相殺・調整額の減少 +8 ◆減少要因 ・単体経常収益 △317	33,159	41,153	+7,994	・子会社売上高 +9,439 ・連結相殺 △1,445 (うち 子会社配当 △382)
経常利益	4,602	4,213	△ 389	◇増加要因 ・子会社経常利益 +204 ◆減少要因 ・単体経常利益 △468 ・連結相殺・調整額の増加 △125	3,765	4,213	+448	・子会社経常利益 +832 ・連結調整 △2 ・子会社配当 △382
当期利益	2,441	2,465	+24	◇増加要因 ・単体当期純利益 +5 ・子会社当期純利益 +125 ◆減少要因 ・連結相殺・調整額の増加 △106	2,316	2,465	+149	・子会社当期純利益 +532 ・連結調整 △1 ・子会社配当 △382

7. 不良債権比率の推移



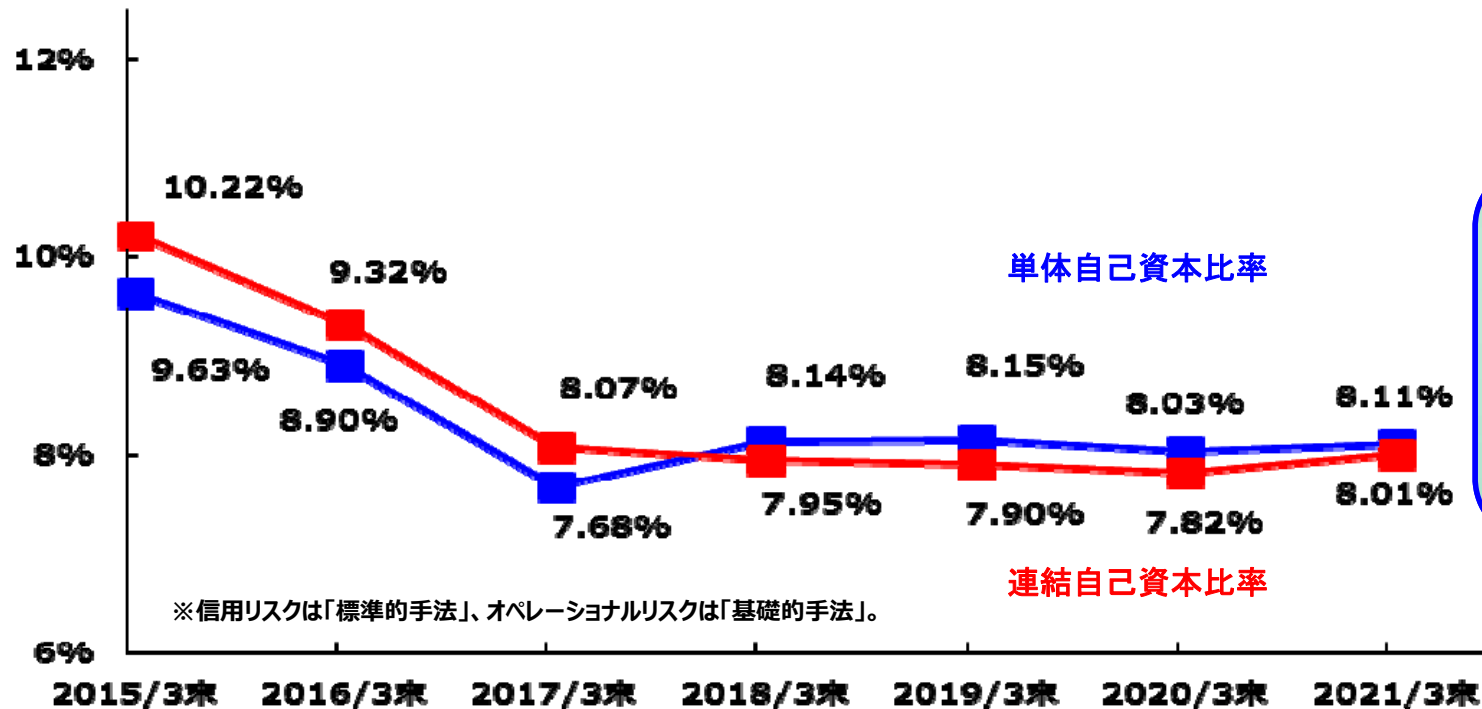
※部分直接償却とは

自己査定により回収不可能又は無価値と判定した担保・保証付債権等について、債権額から担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額を控除した残額（IV分類金額）を取立不能見込額として債権額から直接減額すること。

※当行は「部分直接償却」を実施していないため、IV分類金額と同額の貸倒引当金を計上している。

8. 自己資本比率の推移

【単体】		(単位：百万円)			【連結】		(単位：百万円)		
		2020/3末	2021/3末	(2020/3末比)	2020/3末	2021/3末	(2020/3末比)		
自己資本	A	108,360	108,966	+606	105,841	108,208	+2,367		
リスクアセット	B	1,348,997	1,342,492	△6,505	1,353,187	1,350,903	△2,284		
自己資本比率 (C=A/B)	C	8.03%	8.11%	+0.08%	7.82%	8.01%	+0.19%		



＜自己資本比率＞

- ・利益の積み上げにより自己資本は増加
- ・リスクウェイトの低い貸出金の増加を主因にリスクアセットは減少

＜資本政策の基本方針＞
 当行は経営の健全性維持の観点から、内部留保の充実を図り必要な経営体力を維持していくとともに、持続的な株主価値の向上を図る観点から資本効率を意識した資本政策を実施していきます。また、配当につきましては、長期にわたる安定的な経営基盤の確保に努め、安定配当を行うことを基本方針としております。

9. 2021年度業績予想

(単位：百万円)

	2020年度 実績	2021年度 予想①	前年比	備考 ()は2020年度実績	2021年度 予想②	連単差 (②-①)	連単差の内容
経常収益	33,159	33,000	△ 159	貸出金利息 +155(18,700) 役務収益 +197(7,325) 退職給付 +218(-) 有価証券利息 △298(4,989) 債券売却益等△569(694) 団信配当△72(72)	40,000	7,000	子会社売上高 +8,700 グループ内取引相殺 △1,700 (うち 子会社からの配当金 △500)
経常利益	3,765	5,300	+1,535	預貸金利息+166(18,388) 役務利益 +354(3,585) 退職給付 +1,218(△1,000) 与信費用 △294(2,298) 経費 △341(20,575) 有価証券利息 △298(4,989) 団信配当△72(72)	5,400	100	子会社経常利益 +600 子会社からの配当金 △500
当期利益	2,316	3,300	+984	経常利益 +1,535(3,765) 特別損益 +240(△311) 税金費用 +834(1,137)	3,200	△ 100	子会社当期純利益 +400 子会社からの配当金 △500